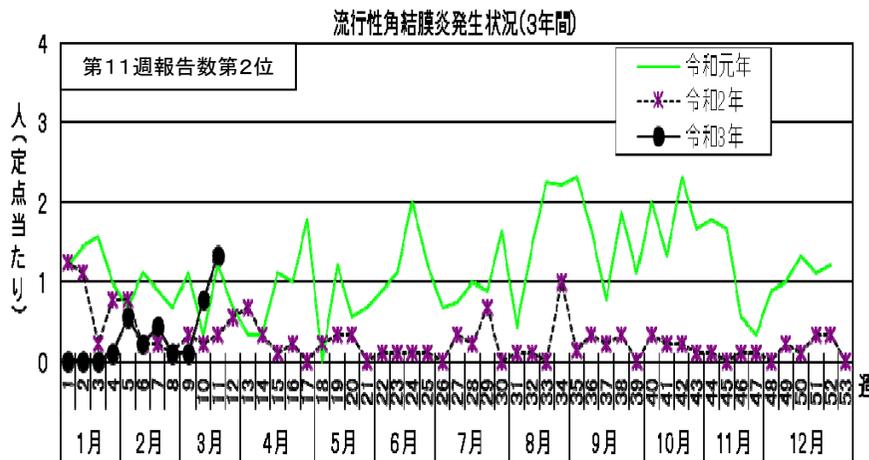
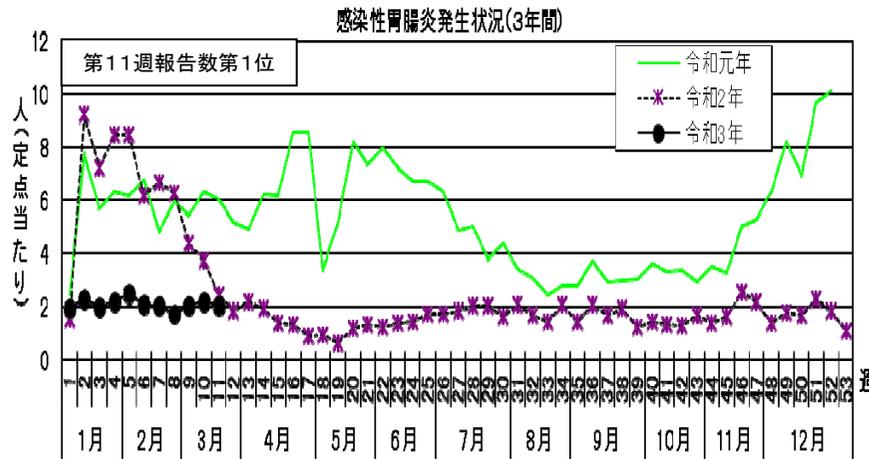


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年3月15日（月）～令和3年3月21日（日）〔令和3年第11週〕の感染症発生状況

第11週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.00人と前週（2.17人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.33人と前週（0.78人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.75人と前週（0.61人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

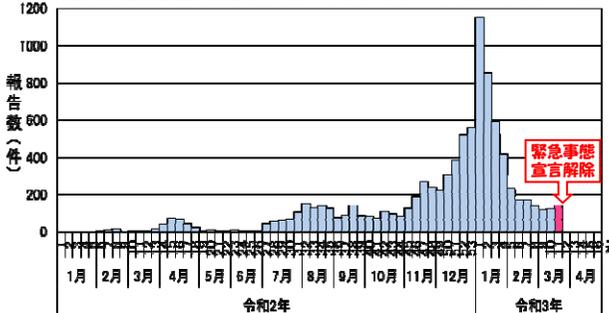


## 変異株に御注意を！～新型コロナウイルス感染症～

令和3年3月21日をもって1都3県の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除され、全ての都道府県で緊急事態措置が終了となりましたが、川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、2月以降は横ばいで、3月中旬以降はやや増加しています。

現在、全世界で新型コロナウイルスの変異株の報告が相次いでおり、国内では、イギリス、南アフリカ、ブラジル、フィリピン由来の変異株が報告されています。いずれも従来の株と比べて感染性が高いといわれており、今後の動向には注意が必要です。しかし、変異株であっても感染対策は従来どおりです。引き続き、正しいマスクの着用、手洗いや手指消毒などを徹底しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年第1週～令和3年第11週)



国内で判明している新型コロナウイルス感染症の変異株

株	感染性	再感染のリスク	ワクチンへの感受性
イギリス由来	25～40%増加	不明 (一部の株で可能性あり)	不明 (一部の株でワクチン効果低下の可能性あり)
南アフリカ由来	50%程度増加	あり	ワクチン効果低下の可能性あり
ブラジル由来	1.4～2.2倍増加	あり	不明
フィリピン由来	不明 (増加の可能性あり)	不明 (可能性あり)	不明

国立感染症研究所 感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の新規変異株について(第7報)を参考に作成